

重要無形民俗文化財

嵯峨大念佛狂言秋季公演

■ 蟹殿 ■ 愛宕詣 ■ 紅葉狩



蟹殿

蟹か？猿か？
仇は討てるのか？
それとも返り討ちか？
栗・白・ハサミは
蟹を助けられるのか？

愛宕詣

旦那は娘を得られるか？
供は身ぐるみ刺がされるのか？
そして娘の運命は？

紅葉狩

猿を討たれた鬼女の怒り
惟茂を守る地蔵の力
生き残るのは人間か妖怪か？

2016/10/23(Sun.) 13:30 ~ 観覧無料・雨天決行
清涼寺（嵯峨釈迦堂）境内狂言堂

■嵯峨大念佛狂言について

京都市の西、嵯峨の釈迦堂の名で親しまれている古刹清涼寺の境内で執り行われる「嵯峨大念佛狂言」は国の重要無形民俗文化財にも指定されている民俗芸能です。すべての役者が面をつけ、台詞がなく、身振り手振りだけで芝居が進行する点に大きな特徴があります。現在は、約二十番の演目が残されています。

その歴史は古く、言い伝えでは鎌倉時代に應永念佛をひろめた円覚上人道御の創始とされています。物的な資料からみても、嵯峨大念佛狂言には室町時代(享禄2年[1529])の銘を持つ面が伝わっており、すでに500年近い歴史を有していると考えられます。この他にも、桃山時代の優秀な面打師であった喜兵衛の刻銘を持つ女面(深井)や、和宮降嫁の際に宮中の女官としてその説得にあたった高野房子の菩提を弔うために奉納された装束など、美術的にも宗教史的にも価値の高い数々の資料が伝わっています。

■秋季公演

清涼寺大念佛会の創始者・円覚上人の命日である10月26日に近い日曜日に開催されます。公演の前には清涼寺裏手の旧地藏院の墓地にある上人の墓に保存会の会員が墓参に訪れます。上演されるのは原則として三番です。地藏院は清涼寺の真言系学侶がいた寺院であり、狂言で用いられる道具類の多くは、かつてこの寺に奉納されたものでした。

本年の公演では「蟹殿」、「愛宕詣」、「紅葉狩」の三つの演目を上演いたします。

■蟹殿

蟹の親子が歩いていると、おいしそうに突った柿を見つけた。二匹は手に入れようと奮闘するが、しよせんは無理な話。そこへ通りかかった猿が、柿をとってやろうということになったが、熟した実は自分で食べてしまい、青柿を親蟹に投げつける。あわれ親蟹は帰らぬ蟹となるが、あっぱれ子蟹は親の仇をとることを誓う。

日本一の黍団子を持って仇討ちの旅に出た子蟹は、途中で栗と白と鉄に出会い彼らを家来にして旅を続ける。みごと仇に巡り会った子蟹は大立ち回りの末に家来たちの助けを得て、みごと仇討ちに成功する。

よく知られた「猿蟹合戦」のお話と「桃太郎」のお話をミックスした楽しく・悲しく・勇ましい物語。天井から張られた綱を用いる点にもご注目ください。

■愛宕詣

場所は愛宕山の中腹。茶屋女が店を開ける。しばらくすると愛宕神社のお参りを済ませた母親と娘が茶屋に立ち寄る。続いて旦那と供が登場。やはりお参りを済ませて茶屋に寄り、お茶を飲んでからかわらけ投げを楽しむ。

愛宕名物の柿を土産に買い、帰ろうとするとそこにいる母親と娘に気づく。旦那は笠で顔を隠したままの娘を見せめ、供に命じてなんとか娘を我がものにしようと交渉させる。ようやく承諾を得た供は旦那と娘を引き合わせ、母親と二人で仲良く立ち去ってゆく。

残された旦那は娘の顔を覆っている笠をなんとかはぎ取るが、あらわれたのはなんとも醜い顔だった。旦那はびっくりし、あわてて去ろうとするが、怒った娘は泣きながら旦那を追い立てる。

供と茶屋女や母親のさまざまな駆け引きが見せ場の定番演目です。

■紅葉狩

美女と腰元が山中で菊見の宴をしている。そのいっぽうで平維茂と供は山で猿狩りをしている。

生きものが殺されているのに怨みを覚えた美女は侍女に命じて維茂を酒宴に誘い、毒酒を勧めてこれを飲むことに成功する。女は毒にあたって取り込んだ維茂から武器を奪って逃げ去る。

維茂はそのまま眠り続けるが、そこへ地藏尊が現れ必殺の太刀を与え、武運を祈禱して消え去る。

目を覚ました維茂は、与えられた太刀を身につけ地藏尊に感謝して鬼女を追う。そして二人の戦いとなるが、維茂はみごとに鬼女を倒し、首をひっさげて堂々とその場を去る。

秋の定番演目。能の「紅葉狩」では、八幡神が維茂を助けますが、これが地藏菩薩になるところが念佛狂言ならではの演出といえるでしょう。

清涼寺へのアクセス(狂言堂は境内の西北にあります)

■京都市営バス	28系統・91系統 11系統・93系統	嵯峨釈迦堂前下車	西へ徒歩2分
■京都バス	61・62・71・72・81 84・94系統 83系統	嵯峨小学校前下車	北へ徒歩3分
■JR	嵯峨野線(山陰線)	嵯峨釈迦堂前下車	西へ徒歩2分
■嵐電	嵐山本線	嵯峨小学校前下車	北へ徒歩3分
		嵯峨嵐山駅下車	北西へ徒歩15分
		嵐山駅	北へ徒歩15分



観覧無料/雨天決行
お席に限りがございますので、お早めにお越しください。

主催：嵯峨大念佛狂言保存会
協賛：嵐山ライオンズクラブ
お問合せ：075-861-0343
sagakyogen@gmail.com
お問い合わせ：www.sagakyogen.info

■展覧会・出張公演のお知らせ

■展覧会

「第11回企画展 嵯峨大念佛狂言展」
会場：京都産業大学ギャラリー（京都産業大学むすびわざ館2階）
会期：2016年10月17日（月）～2016年12月3日（土）
開館時間：10:00～16:30（入館受付は16:00まで）
休館日：日曜・祝日 ただし11月6日（日）、20日（日）、27日（日）は開館
入館料：無料

■公演

嵯峨大念佛（子ども）狂言
演目：「釈迦如来」「舟弁慶」
出演：嵯峨狂言クラブ（小学生）
日時：2016年11月20日（日） 13:00開場、14:00開演（15:30終演予定）
会場：京都産業大学むすびわざ館2階ホール（申込不要・定員350名）

■公演

嵯峨大念佛狂言
演目：「土蜘蛛」
出演：嵯峨大念佛狂言保存会
日時：2016年11月27日（日） 13:00開場、14:00開演（15:30終演予定）
会場：京都産業大学むすびわざ館2階ホール（申込不要・定員350名）

展覧会・公演ともお問合せは
京都産業大学むすびわざ館事務室
京都市下京区中堂寺命婦町1-10
TEL. 075-277-0254